
2005年3月期中間決算説明会資料
スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社



2004年11月9日

SPARX Asset Management Co., Ltd.

この資料は、投資家への情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の有価証券の取引を推奨する目的、または特定の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。

数値、情報については、正確性を期すべく、万全の配慮をしておりますが、一部内部資料に基づくものもあり、財務データに関しては未監査のものでありますので、その正確性、完全性、情報や意見の妥当性等を保証するものでなく、当該データ、意見等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。

また、ここに記載された内容が事前連絡なしに変更されることもあります。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメント投信株式会社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

中間期 連結決算ハイライト

本資料における数値は全て連結ベースの数値を使用している。



	2004年3月期		2005年3月期	
	中間期	通期	中間期	前年同期比
運用資産残高(AUM)平残 (億円)	4,032	4,597	7,245	+79.7%
営業収益 (百万円)	3,557	11,117	6,823	+91.8%
営業費用・一般管理費 (百万円)	1,964	4,429	2,938	+49.6%
営業利益 (百万円)	1,592	6,687	3,884	+143.8%
経常利益 (百万円)	1,610	6,678	3,878	+140.8%
当期利益 (百万円)	797	3,380	2,058	+157.9%
役職員数(期末) (人)	102	101	120	+17.6%
TOPIX(期末)	1,018	1,179	1,102	+8.2%

(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示をしている。

(注2) 2005年3月期中間期運用資産残高平残については、一部速報値を使用して算出している。

(注3) 上記「役職員数(期末)」には、非常勤役員を含む。

営業収益 内訳



		2004年3月期		2005年3月期	
		中間期	通期	中間期	前年同期比
残高報酬	(百万円)	2,118	4,753	3,782	78.5%
料率(手数料控除後)	(%)	0.89	0.89	0.89	-
支払手数料控除後	(百万円)	1,799	4,107	3,211	78.5%
成功報酬	(百万円)	1,298	6,118	2,900	123.3%
対AUM付帯比率	(%)	63	58	59	- 4.0%
その他 営業収益	(百万円)	139	244	140	0.6%
営業収益 合計	(百万円)	3,557	11,117	6,823	91.8%

(注1) 上記表中の数字は「前年同期比」「残高報酬・料率(手数料控除後)」を除き、単位未満を切り捨てで表示している。「前年同期比」については、小数点以下第3位を四捨五入して表示している。「残高報酬・料率(手数料控除後)」を除き、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。なお「残高報酬・料率(手数料控除後)(%)」と「成功報酬・対AUM付帯比率(%)」の「前年同期比」は変化率ではなく、単純な増減幅を表示している。

(注2) 上記「残高報酬・支払手数料控除後」は少数株主持株分利益の調整を行っている。

(注3) 上記表中の「2005年3月期中間期 成功報酬・対AUM付帯比率」の算出については、2004年9月末の運用資産残高の速報値を使用している。

経費 内訳



分類	2004年3月期		2005年3月期	
	中間期	通期	中間期	前年同期比
支払手数料	営業費用 (百万円)	326	804	649 99.2%
委託計算費	営業費用 (百万円)	41	78	93 128.1%
その他	営業費用 (百万円)	95	214	143 50.2%
人件費 (派遣社員等を含む)	一般管理費 (百万円)	820	1,960	1,119 36.4%
うち 賞与引当金	(百万円)	200	-	400 100.0%
旅費交通費	一般管理費 (百万円)	76	229	139 81.3%
不動産賃借料	一般管理費 (百万円)	147	290	176 19.5%
事務委託費	一般管理費 (百万円)	109	217	193 77.1%
減価償却費	一般管理費 (百万円)	82	167	76 -7.0%
その他	一般管理費 (百万円)	264	467	345 30.8%
営業費用・一般管理費 合計	(百万円)	1,964	4,429	2,938 49.6%

(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示をしている。

(注2) 上記表中の「人件費」には、上記「賞与引当金」、派遣社員等への支払を含む。

グループ人員配置（常勤） 内訳



常勤・グループ役職員数（2004年9月末）： 119人

（注）括弧内の人数は、対2004年6月末比の増減人員数を示している。

	社長・常務・ 監査役	運用調査	営業	コーポレート	ファンド管理	IT	リーガル& コンプライアンス	リスク・パフォー マンス管理	合計
スパークス・アセット・ マネジメント投信	5	29 (+1)	15 (-1)	11 (+2)	9	5	4	2	80 (+2)
スパークス証券	0	0	9 (+1)	3	0	0	0	0	12 (+1)
米国 オフィス	0	3	7 (+1)	4	3	3	3 (+1)	0	23 (+2)
英国 オフィス	0	0	2	1	1	0	0	0	4
合計	5	32 (+1)	33 (+1)	19 (+2)	13	8	7 (+1)	2	119 (+5)

残高報酬（手数料控除後）のみで確保できる経常的な利益は、どのくらいか？

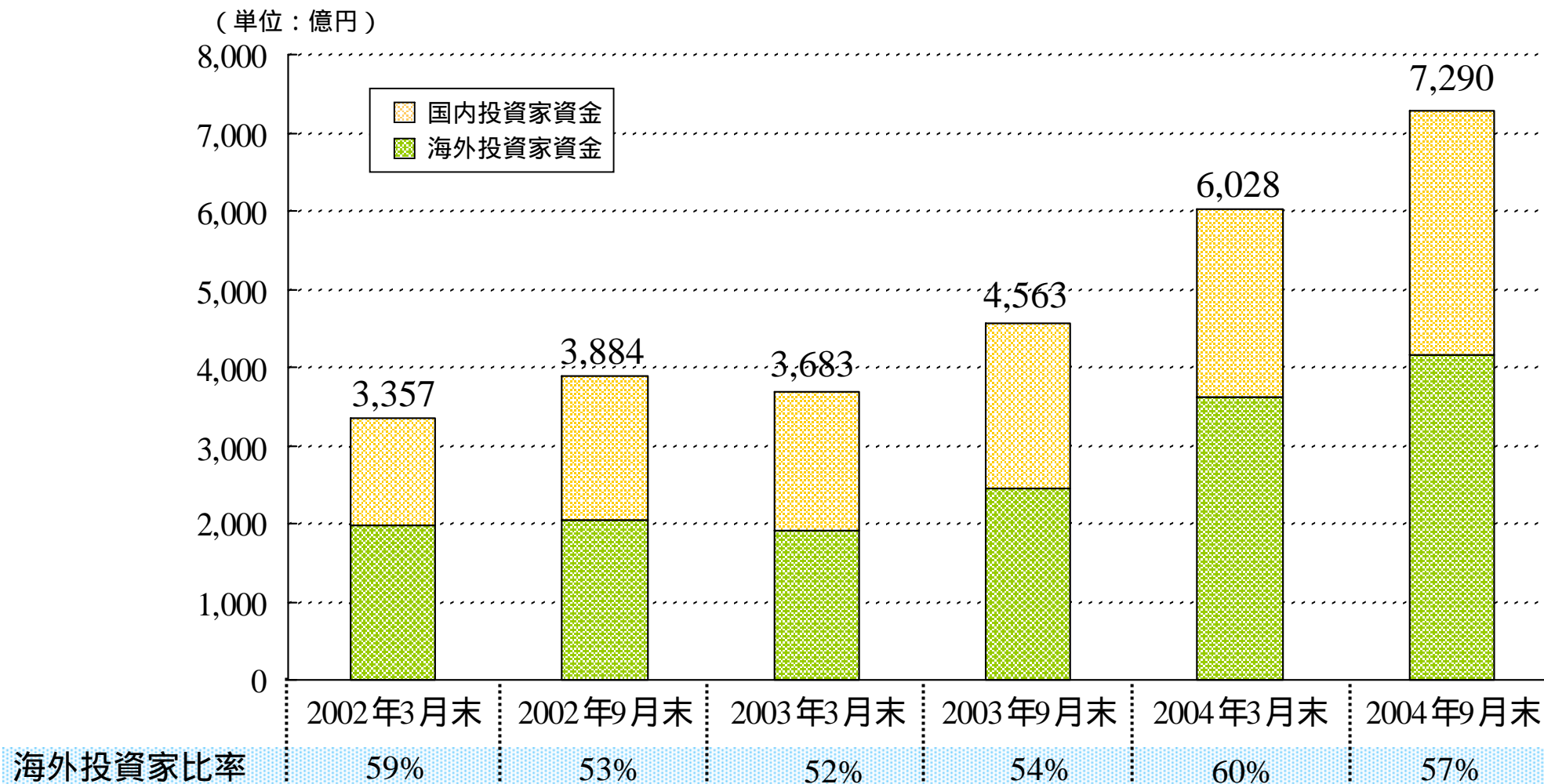
		2004年3月期 通期	2005年3月期 中間期 (12ヶ月換算)
AUM 平残	(億円)	4,597	7,245
残高報酬料率 (手数料控除後)	(%)	0.89	0.89
残高報酬 (手数料控除後)	(百万円)	4,091	6,448
経常的経費	(百万円)	2,871	3,438
基礎収益	(百万円)	1,219	3,010
役職員数 (期中平均)	(人)	97	110

(注1) 上記表中数字は単位未満を切り捨て表示している。「残高報酬」は概算値として、残高報酬料率からの年換算値を表示している。

(注2) 「経常的経費」とは 支払手数料全額、実績賞与、その他特殊要因により生じた費用等の合計を営業費用・一般管理費の合計から控除した費用の合計を指し、2005年3月期中間期の「経常的経費」については、当該中間期の経常的経費を単純に2倍し年換算した数字を用いている。

(注3) 2005年3月期中間期運用資産残高平残については、一部速報値を使用して算出している。また「役職員数(平均)」は、期初と期末の役職員数の単純平均を指し、単位未満を切り捨て表示している。

運用資産残高（AUM）属性

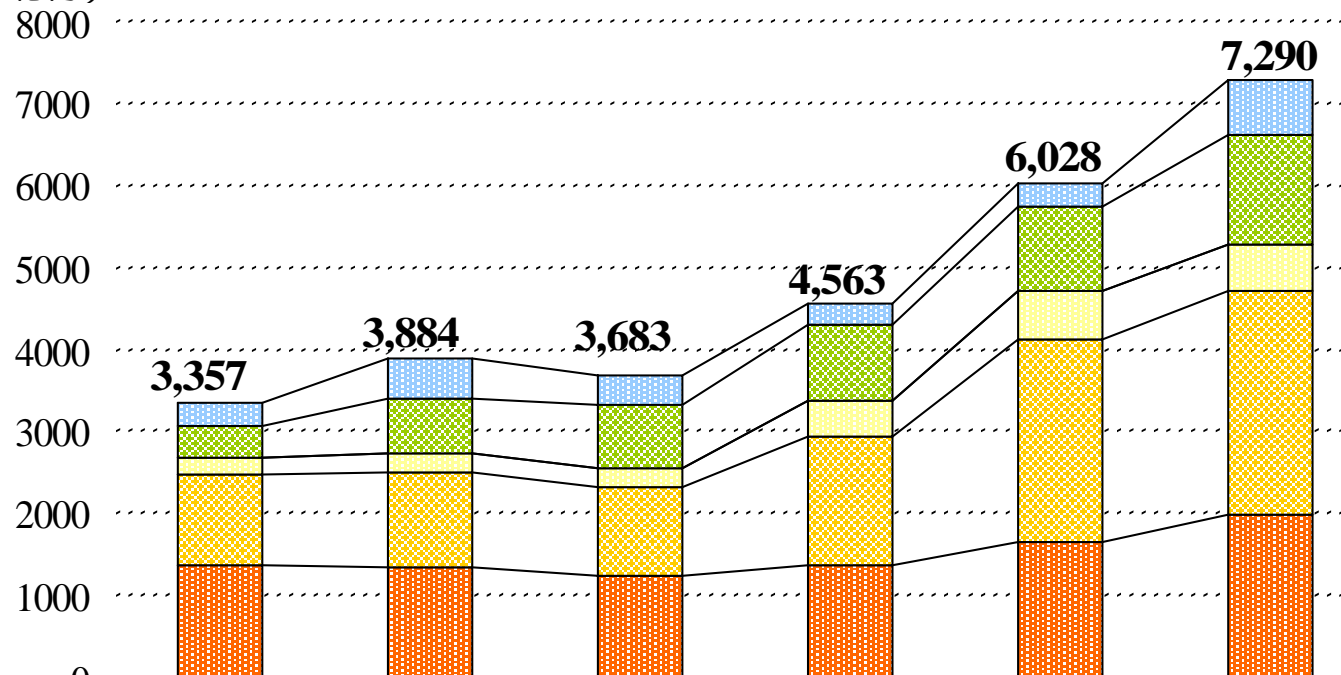


(注) 上記「海外投資家比率」は小数点以下第1位を四捨五入し表示している。また、上記の数値は社内の概算値を表示しており、正確性を保証するものではない。

運用資産残高 (AUM) 属性



(単位：億円)



	2002年3月末	2002年9月末	2003年3月末	2003年9月末	2004年3月末	2004年9月末 (速報値)	2004年9月末 構成比
投資信託委託業							
国内公募投信	304	484	351	256	282	685	9.4%
国内私募投信	363	671	770	926	1,049	1,323	18.2%
投資顧問業							
個別口座(国内顧客)	223	224	255	435	573	575	7.9%
個別口座(海外顧客)	1,090	1,156	1,059	1,589	2,483	2,728	37.4%
スパークス設定海外籍ファンド	1,371	1,341	1,241	1,349	1,633	1,970	27.0%
助言契約	4	4	4	5	6	7	0.1%

(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。また、2004年9月末の運用資産残高は速報値を使用している。

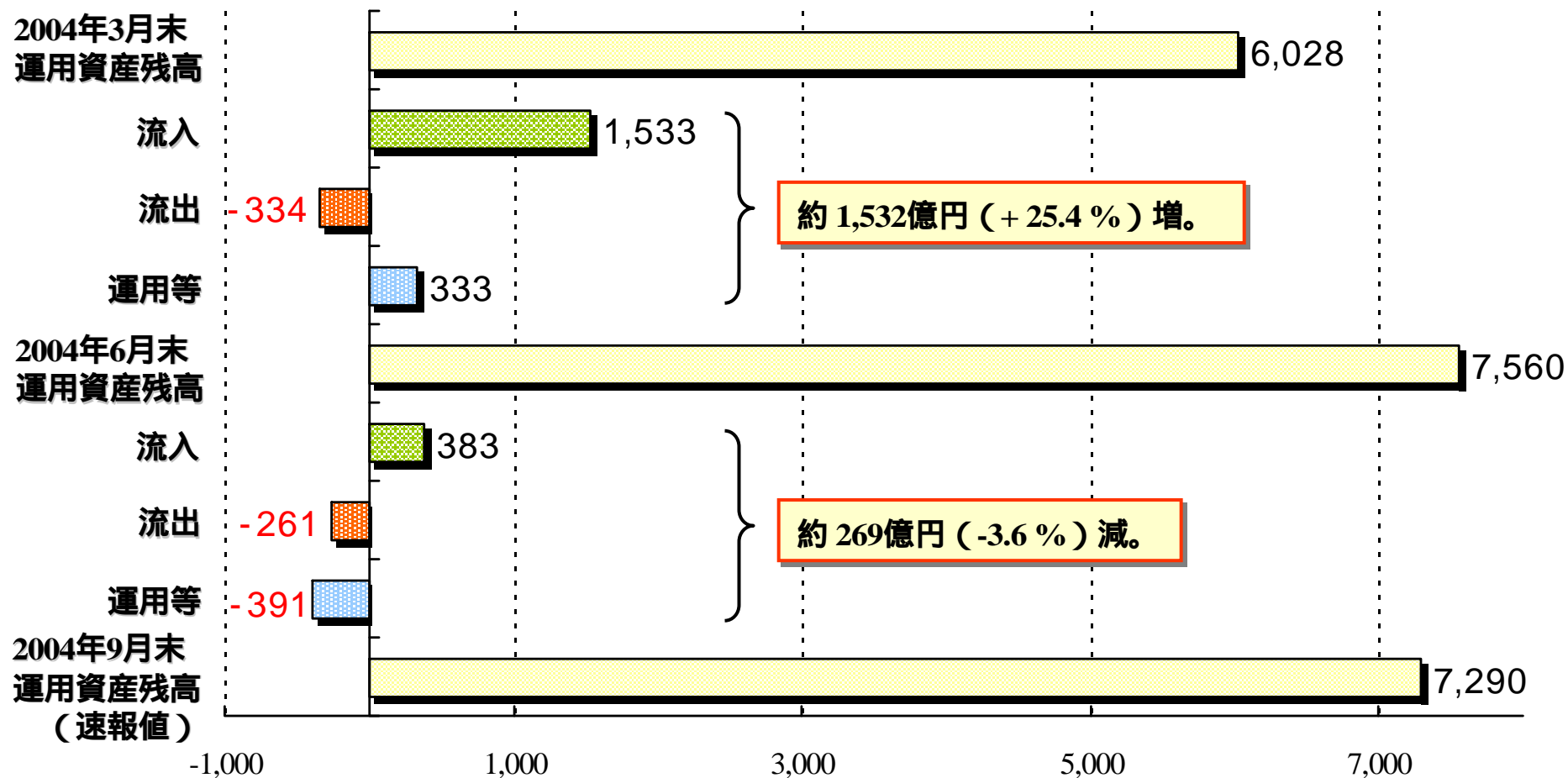
(注2) 「スパークス設定海外籍ファンド」とは、当社の海外子会社により運営されているファンドを指す。

© 2004 SPARX Asset Management Co., Ltd.

2005年3月期 中間期資金流出入



(単位：億円)



厳しい相場環境による運用減が見られるが、流入超過で推移。

(注) 数字は単位未満を切り捨てて表示している。

資金流出入 【2004年3月末～9月末】

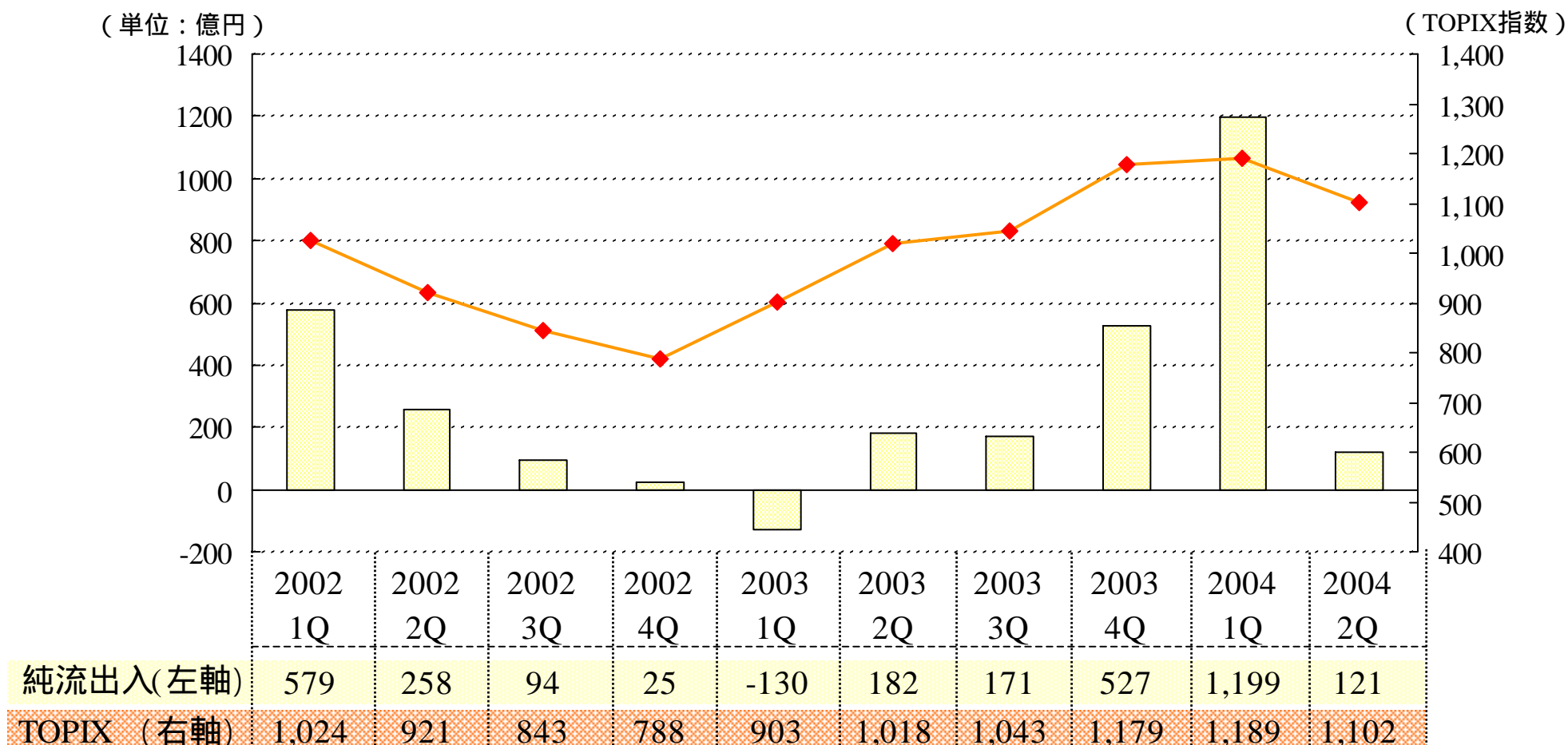


(単位：億円)

ストラテジー別 (単位:億円)	2004年 3月末	流入	流出	運用等	2004年 6月末	流入	流出	運用等	2004年9月末 (速報値)
日本株式ロング・ショート 投資戦略	2,211	570	190	89	2,681	172	100	-16	2,737
日本株式集中投資戦略	346	54	0	6	407	4	1	-15	394
ファンド・オブ・ファンズ 投資戦略	161	2	-	0	164	2	-	-3	163
日本株式一般投資戦略	1,608	596	42	83	2,246	120	13	-231	2,122
日本株式中小型投資戦略	1,246	211	95	102	1,465	73	146	-132	1,259
バリュー・クリエーション 投資戦略	388	97	-	55	541	8	-	7	558
未公開株式投資戦略	66	0	6	-4	55	0	-	0	54
合 計	6,028	1,533	334	333	7,560	383	261	-391	7,290

(注) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。また、2004年9月末の運用資産残高は速報値を使用している。

資金純流出入の推移



流出入量は株式市場に大きく左右されるが、上場来では2003年第1四半期以外は全て流入超過で推移。

(注) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。また、2004年第2四半期の数値算出には一部速報値を使用している。

主要投資戦略 計測開始日來リターン



(年率換算)

(コンポジット計測開始日～2004年9月末)

	日本株式 一般(合同口)	日本株式 店頭	ロング・ショート (ドル建、Lev.2)	ロング・ショート (円建、Lev.1)	集中投資	VCI (ドル建)
コンポジット	14.5%	13.5%	21.3%	6.6%	9.0%	57.7%
参考インデックス値	-2.7%	5.9%	0.1%	-6.3%	-3.8%	22.6%
超過リターン	17.2%	7.6%	21.2%	12.9%	12.8%	35.1%

参考インデックス	TOPIX配当込	日経JASDAQ 平均	TOPIX配当込 (ドルヘッジ)	TOPIX配当込	TOPIX配当込	TOPIX配当込 (ドルヘッジ)
計測開始日	97年5月	97年4月	97年8月	2000年6月	99年7月	2003年2月
コンポジット・リターンの ボラティリティ(年率)	26.0%	27.2%	12.8%	6.6%	25.5%	n.a.

(注1) 上記表中の数字は、当社で運用する主要な投資戦略のコンポジット・リターンを社内資料に基づいて作成した。表中の「参考インデックス」とは、相対比較のために便宜的に採用した指標であり、顧客から要請されているベンチマークとは限らない。

(注2) リターン算出基準は次の通り。「日本株式一般」「日本株式店頭」「ロング・ショート(ドル建、Lev2)」「集中投資」については、**修正デイト法・運用関連手数料控除前**、「ロング・ショート(円建、Lev1)」は**基準価格法・運用手数料控除後**、「VCI(ドル建)」は**内部収益率・運用手数料控除前**。また、上記数字は小数点以下第2位は四捨五入して表示している。

(注3) 「TOPIX配当込(ドルヘッジ)」は1ヶ月為替フォワード・レートで完全にヘッジされた場合のドル建のリターンを計算している。

コンポジット算出に関する追記

- 各コンポジットはスパークス・アセット・マネジメント投信株式会社とその100%子会社であるSPARX Overseas, Ltd. 及びSPARX Investment & Research, USA, Inc.が運用するポートフォリオを対象としている。
- 今回提示した各コンポジットの投資戦略の内容は以下の通りである。

コンポジットの名称	投資戦略の内容
日本株式一般（合同口）	合同運用を行う、日本の全上場・公開銘柄を投資対象とするアクティブ投資戦略
日本株式店頭	日本の店頭、中・小型株を主要投資対象とする投資戦略
ロング・ショート （ドル建、Lev2）	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の2倍の範囲内として安定した絶対リターンを目標とするロング・ショート投資戦略
ロング・ショート （円建、Lev1）	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の1倍の範囲内として安定した絶対リターンを目的とするロング・ショート投資戦略
集中投資	少数銘柄の日本株式に集中的に投資する投資戦略
V C I（ドル建）	コーポレート・ガバナンスの見地から日本株式に能動的に投資する投資戦略

3. リターンに関する追加情報（過去5年の年度別リターン）

	2000年3月期	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期
日本株式一般（合同口）	93.34%	-25.25%	-0.22%	-25.58%	78.06%
日本株式店頭	104.83%	-34.98%	-10.21%	-16.85%	69.66%
L/S（ドル建、Lev2）	50.95%	-4.20%	9.68%	-6.41%	37.92%
L/S（円建、Lev1）	-	2.02%(10ヶ月)	7.09%	-7.30%	29.30%
集中投資	44.68%(9ヶ月)	-11.66%	-9.65%	-10.51%	53.23%

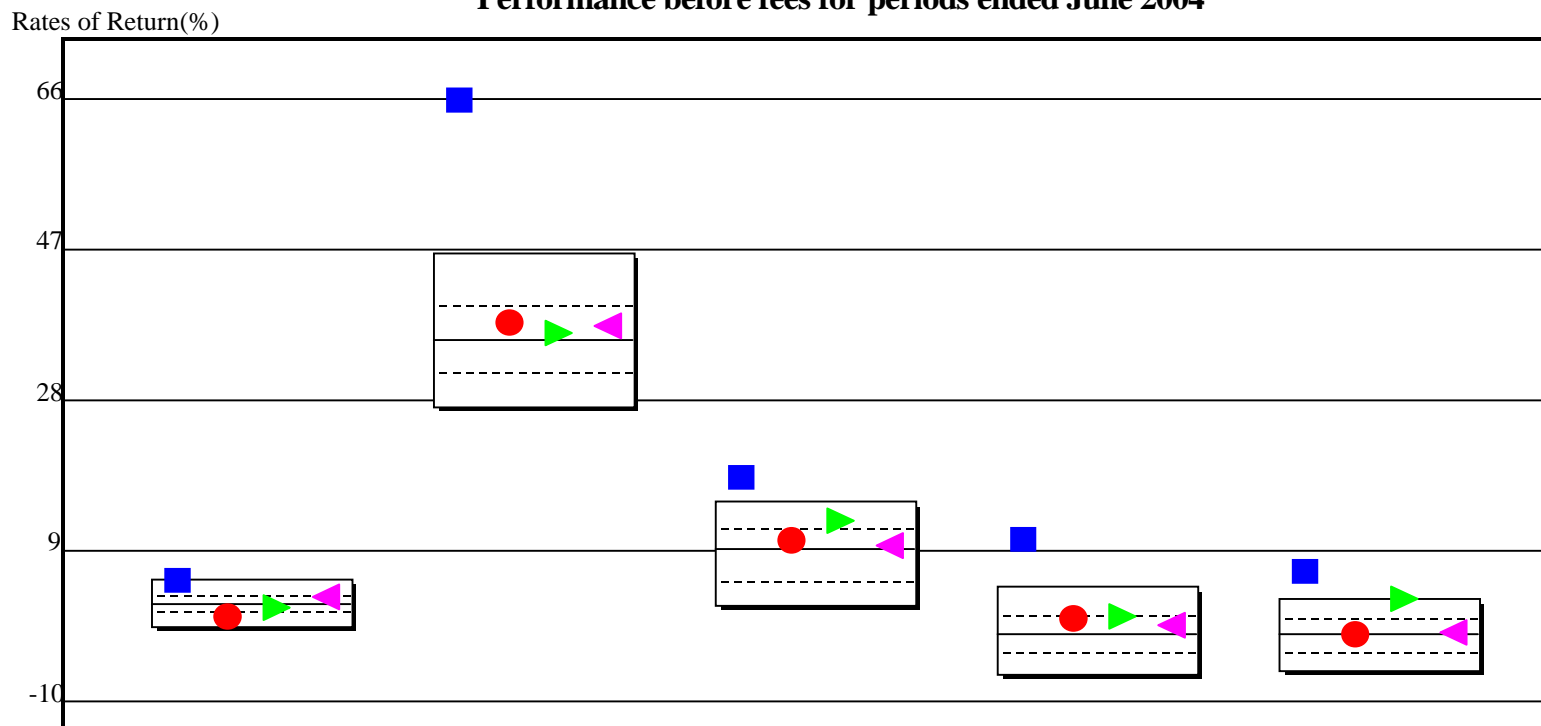
注) VCIコンポジットは設定来の内部収益率を計算しているため、年度ごとのリターンは算出していない。

- GIPSに準拠したコンポジットは、要請があれば提供することが可能である。

【御参考】パフォーマンスのピア・グループ比較



Comparison with the Mercer Japanese Equity Universe
Performance before fees for periods ended June 2004



	3 Months (%)	1 Year (%)	2 Years (%pa)	3 Years (%pa)	5 Years (%pa)
SPARX	5.5 (5)	65.9 (1)	18.4 (2)	10.5 (2)	6.6 (3)
A社	0.9 (83)	37.9 (33)	10.4 (34)	0.5 (31)	-1.4 (40)
B社	1.9 (59)	36.5 (46)	12.9 (16)	0.7 (28)	2.9 (5)
C社	3.2 (28)	37.3 (38)	9.6 (43)	-0.5 (39)	-1.2 (39)
95 th Percentile	5.4	46.4	15.2	4.5	2.9
Upper Quartile	3.4	40.0	11.8	0.8	0.4
Median	2.3	35.5	9.1	-1.5	-1.6
Lower Quartile	1.2	31.4	5.1	-3.9	-3.9
5 th Percentile	-0.4	27.1	2.3	-6.5	-6.2
Number of Funds	100	99	98	96	83

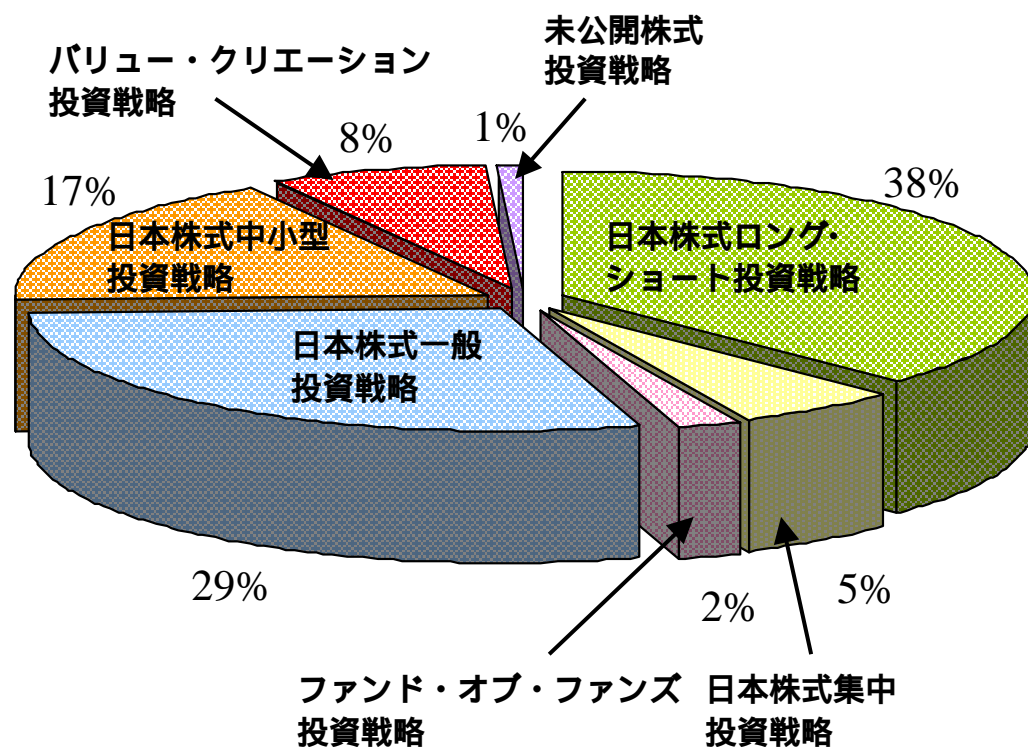


(注) 上記の数字およびグラフは、マーサー・インベストメント・コンサルティング社の調査に基づく。ファンドに関する数値は、将来の結果を約束するものではない。

投資戦略別運用資産残高



2004年9月末時点での投資戦略別運用資産残高の内訳

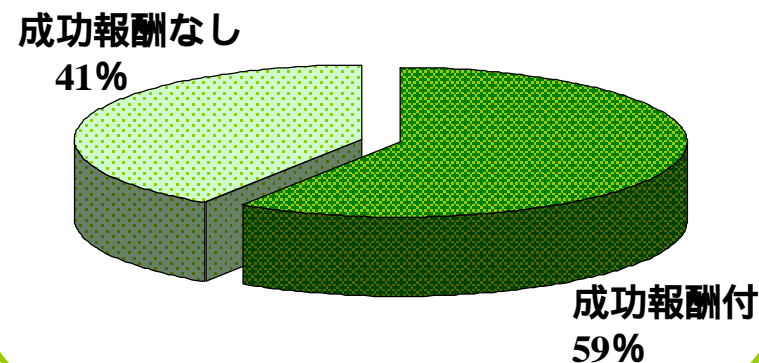


戦略別残高内訳

(2004年9月末速報値)

日本株式ロング・ショート投資戦略	2,737億円
日本株式集中投資戦略	394億円
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	163億円
日本株式一般投資戦略	2,122億円
日本株式中小型投資戦略	1,259億円
バリュー・クリエーション投資戦略	558億円
未公開株式投資戦略	54億円
総額	7,290億円

成功報酬の付帯比率



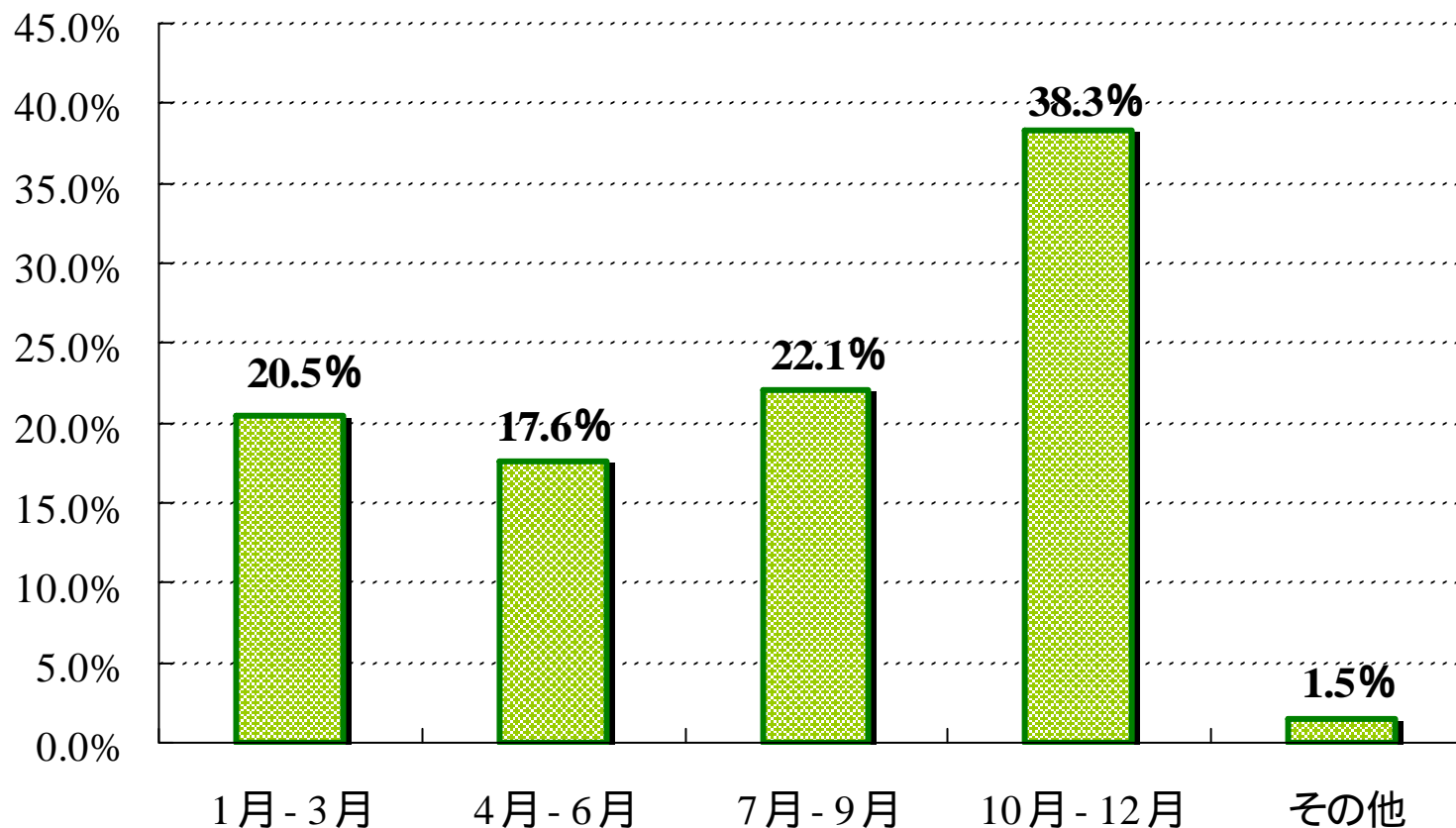
(注1) 上記グラフ中の数字は、小数点以下第1位を四捨五入し表示している。また、2004年9月末運用資産残高の速報値を用いて作成している。

(注2) 「成功報酬の付帯比率」の数値は社内データ及び当社資料による概算値であり、正確性を保証するものではない。

成功報酬の計算基準日の分布状況



運用資産残高（2004年9月末）に占める割合



(注1) 上記表中の「運用資産残高（2004年9月末）に占める割合」では、当社が運用する全てのファンド（「ファンド」とは、投資信託あるいは投資一任口座を指す。以下同様）を、成功報酬の基準日および支払いが確定する月ごとに分類し、その上で、当社の2004年9月末の運用資産残高に占める割合をグラフ化した。その際、複数の支払時期があるファンドについては、該当ファンドの残高全てを各月に計上、各月に重複して計上している分は、運用資産残高合計にも加算、成功報酬がついていないファンドは、運用資産残高の合計から除外、という調整を行い、上記割合を算出している。尚、上記の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示している。

(注2) 上記の数字は、社内データ及び当社資料による概算値であり、正確性を保証するものではない。

成功報酬 内訳



		2004年3月期		2005年3月期	
		中間期	通期	中間期	前年同期比
AUM 平残	(億円)	4,032	4,597	7,245	+79.7%
日本株式 ロング・ショート	(百万円)	1,025	4,601	2,282	
日本株式 集中	(百万円)	227	326	413	
ファンド・オブ・ファンズ	(百万円)	23	96	1	
日本株式 一般	(百万円)	21	60	191	
日本株式 中小型	(百万円)	-	21	11	
バリュー・クリエーション	(百万円)	-	1,012	-	
成功報酬 合計	(百万円)	1,298	6,118	2,900	+123.3%

(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。

公募投資信託の規模拡大に向けて



(単位：億円)

	2002年3月	2002年9月	2003年3月	2003年9月	2004年3月	2004年9月 (速報値)
スパークスの公募投資信託 残高 (a)	304	484	351	256	282	685
全公募投資信託のうち 株式運用分 (b)	98,795	98,899	84,259	104,419	116,628	115,534
全公募投信の株式運用分のうち スパークスのシェア (a/b)	0.31%	0.49%	0.42%	0.25%	0.24%	0.59%

現在の公募投信残高は、投信運用会社全64社中41位(*)の資産規模

(*) 社団法人投資信託協会が公開している2004年8月末時点のデータを
基に算出し、掲載している。

公募投資信託の規模拡大に向けた戦略

- 国内投資家向けでは
- 1) 「スパークス・アクティブ・ジャパン」(2004年4月27日設定)、
「スパークス・ジャパン・オープン」(2004年5月20日設定)が堅調に残高を伸ばしている。
 - 2) 新規公募投信「スパークス・超小型・ファンド」の設定を予定(2004年12月6日)
- 海外投資家向けでは
- アメリカのチャールズ・シュワブで販売開始(「SPARX JAPAN FUND」、2004年4月)

(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。

(注2) 「日本の株式公募投信総額」のデータは、社団法人投資信託協会のホームページにて公表されている、統計データ「契約型公募投信資産運用状況(1990年1月～)」の「株式投信計(A)」に掲載されているもののうち、株式運用分の数値を参照した。また、「日本の全ての公募株式投信におけるスパークスのシェア」については、小数点以下第3位を四捨五入し表示している。